

放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 令和7年2月17日

事業所名: 東部・西部子どもホーム

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
環境・ 体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○				93%			7%		
	2 職員の適切な配置		○		現在、西部子どもホーム職員が1名であり、応援体制が必要である。	79%	7%		14%	・たくさんの職員さんがいるので、心配ないと思う。	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備		○		3階のトイレは、車椅子が入れたり、職員が介助に入るにはトイレの大きさが狭いので、1階と2階にあるバリアフリーのトイレを利用する。	86%	14%				
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○				100%					
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画		○								
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施		○								
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○			職員会での研修をより充実していきたい。						
適切な支援の提供	1 適切に支援プログラムが作成、公表されているか			○	今年度中に公表予定である。	93%			7%		
	2 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での放課後等デイサービス計画の作成	○			保護者の意見を聞いてニーズを計画的に取り入れて作成している。	100%					

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
適切な支援の提供（ 続き）	3 放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○			毎回、職員間で振り返りや打ち合わせをして、子どもや保護者の情報共有しながら一貫した支援を行っている。	100%					
	4 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた放課後等デイサービス計画の作成	○			保護者に5領域を明確化して各領域ごとに具体的な支援計画を立てるためのアセスメントの項目を丁寧に聴取している。						
	5 放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	○			職員会等で放課後等デイサービスガイドラインを確認するなど、職員がその内容を把握して計画を作成している。	100%					
	6 チーム全体での活動プログラムの立案	○			スケジュール作成時にみんなの意見を聞いている。また打ち合わせ時にも再度、療育内容を話し合っている。						
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	○			季節に合わせてイベントをしたり、利用児童のニーズを聞いて活動内容に取り入れて工夫している。	86%			14%		
	8 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援		○		平日と長期休暇に応じて、保護者や利用児童の意見を聞いて課題を設定している。						
	9 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	○			療育前に職員間で打ち合わせをして、児童の情報を共有して職員の役割を分担している。						
	10 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	○			職員間で振り返り、次回の療育につなげるようにしている。						
	11 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	○			設定した目標に対してどうだったかを客観的に記録して、次回の具体的な支援につなげている。						

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた 改善内容・改善目標
			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
	12	定期的なモニタリングの実施及び放課後等デイサービス計画の見直し	○			保護者モニタリングは半年に1回の開催のほか、随時必要に応じて行っている。						
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画		○		基本的に管理者が参加し、場合によっては、担当職員が参加することもある。						
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		○		保護者や相談支援専門員からの聞き取りで情報を得ている。						
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		○		必要がある時には医療機関等から情報を得ている。						
	4	放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有		○		支援会議や相談支援専門員を通じて情報を共有している。						
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	○			常時、利用児童の状態に応じて情報共有できるようにしている。						
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	○			常時、児童発達支援センター等の専門機関から情報を提供してもらえる体制である。						
	7	放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供			○	放課後児童クラブや児童館との交流はないが、屋外活動として公園や公民館等の公共施設を利用している。	29%	7%	14%	50%		放課後児童クラブや児童館との交流は行っていないが、屋外活動として、他児が利用している公園や公民館や図書館間等の公共施設を利用して他児と同じ空間を過ごす経験を積んでいる。

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた 改善内容・改善目標
			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
	8	事業所の行事への地域住民の招待など 地域に開かれた事業の運営		○								
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明		○			100%					
	2	放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	○				100%					
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		○		保護者モニタリング時に、保護者から意見を聞いて、どのような支援が良いかを話し合っている。	36%	14%		50%		お迎え時にペアレントメンターカフェ等の情報を提供している。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底		○			100%					
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	○			お迎え時や保護者モニタリング等で相談があれば、必要な助言と支援を行っている。	100%					
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		○			22%	7%	14%	57%		現在保護者会は開催していないが、ペアレントメンターカフェや研修会等を周知して保護者に様々な交流の機会を提供している。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	○			苦情等は迅速かつ丁寧に対応している。						

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた 改善内容・改善目標
			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
保護者への説明責任・連携支援（続き）	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	○				93%			7%		
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	○				65%	14%	7%	14%		定期的にパレットレターの配布やフェイスブックでの情報発信を行っている。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	○			職員に対して個人情報の漏洩がないように注意喚起している。	93%			7%		
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底			○	定期的に職員会で職員に周知しているが、保護者へは十分は周知ができていないので、今後、周知するようにしていきたい。	57%	7%		36%		
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	○			利用児童と職員が参加して火災や地震を想定した避難訓練を実施している。	22%	7%		71%		定期的に避難訓練等を実施しているので、今後、保護者に文書等でお知らせするようにしていきたい。
	3	服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況の確認の実施	○			保護者モニタリングやお迎え時等で子どもの状態を確認している。						
	4	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応		○		医師の指示書では対応していないが、保護者から聞き取りをして対応している。						
	5	安全管理の徹底	○			施設内の危険個所のチェックや防犯訓練等を実施している。	72%	7%		21%		

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた 改善内容・改善目標
			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
非常時等の 対応（ 続き）	6	家族等との連携を図るため、安全計画に基づく取組内容についての家族等へ周知		○		保護者に防犯訓練や避難訓練を実施することや送迎時の様子などで安全面に配慮した支援について伝えている。	71%			29%		安全計画を通して、防犯訓練等の実施し、安心・安全に過ごせるように取り組んでいる。
	7	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	○			ヒヤリハット事例が生じた時に、原因や今後の対応について職員間で話し合っている。						
	8	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	○			定期的に放課後等デイサービス事業所連絡会等や職員会等で研修を実施して、職員が日頃から適切な対応ができるように意識している。						
	9	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での放課後等デイサービス計画への記載	○			身体拘束を行うかどうかについては、職員間で話し合ったり、個別療育支援計画に記載している。						